

kyasual を SLYDIFF1化してあったまりたい

kyawaway

GitHub: <https://github.com/kyawaway>

How to Setup

1/10

Preparation

- Fork this repository
- install SAT_YSF_I satyrographos

Build

- `opam install ./kyasualfi.opam` to install packages
- `make` to build
- `slide.pdf` should be generated

基本的には，普通の `SLYDIFI` と同じです．

- または，これと `slide.tex` を眺めてください．
- 要望があれば，ドキュメントを追加します．
 - ◆ 要望は，issue か @kyawaway へお願いします．

セクションスライドの 具体例

- フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
- SLyDIF_I では 3 種類のフレームを区別する
 - ◆ 見出し：スライド全体の題目、発表者名などを載せるフレーム
 - ◆ セクション見出し：セクションのタイトルを載せる
 - ◆ 本文：通常のフレーム

以下のようなコマンドを用いてテキストを記述できる：

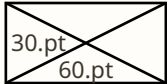
- `+p{}`: 段落
- `+listing{}`: 番号のない箇条書き
- `+enumerate{}`: 番号付きの箇条書き

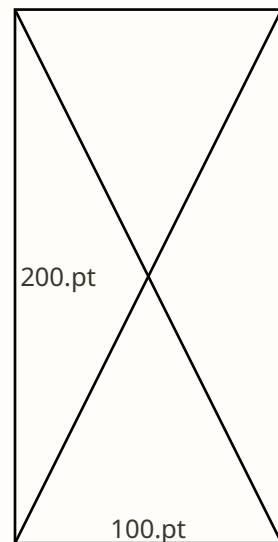
インラインテキストの中では以下のマークアップが使える：

- `\emph{}`: **強調**
- `\text-color(){}:` 文字色変更

図表の貼り付け (FigBoxモジュール)

5/10

- 例： `+fig-center(FigBox.include-image 80pt `path/to/image.jpg`);`
 - ◆ `FigBox.include-image`：画像 (PDF/JPEG) を指定幅で読み込む
 - ◆ `+fig-center`：読み込んだ図を中央揃えで配置
- 便利関数，コマンド
 - ◆ `dummy-box`：指定されたサイズのダミーボックス
 - ◆ `hmargin`：水平方向に指定された量の余白を付ける
 - ◆ `vconcat`：鉛直方向に図を結合
 - ◆ `\fig-inline`：テキスト中  に画像を出力
 - ◆ `+fig-on-right`：画像を右に、本文を左に配置



数式は L^AT_EX と同様に

$$E = mc^2, F = G \frac{m_1 m_2}{r^2}, x^x = e^{x \log x}$$

といった要領で書くことができます .

```
1 +centering{  
2   ${E = m c^2}, ${F = G \frac{m_1 m_2}{r^2}},  
3   ${x^x = e^{x \log x}}  
4 }
```


$$\frac{\wedge I \frac{\vdash A}{\vdash A} \vee I \frac{\vdash B}{\vdash B \vee C}}{\vdash A \wedge (B \vee C)}$$

```
1  ${ \proven! (
2    derive ${ \vdash A \wedge \paren {B \vee C} }
3    |> by { ${\wedge} I }
4    |> from [
5      assume ${ \vdash A };
6      derive ${ \vdash B \vee C }
7      |> by { ${\vee} I }
8      |> from [
9        assume ${ \vdash B };
10     ]; ] }
```

これはテストです。

|

これはブロックのテストです。

これはブロックのテストです。

これはブロックのテストです。

alert block

これはブロックのテストです。

example block

これはブロックのテストです。

これは定義ブロックのテストです。

定義 1. タイトル

数式も入れられます。

定理 2. タイトル

数式も入れられます。

系 3. タイトル

数式も入れられます。

補題 4. タイトル

数式も入れられます。